

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 てんかんモニタリングユニットの入院患者におけるてんかんおよびその類縁疾患に関する研究

【研究責任者】 精神科 医師 谷口 豪

【本研究の目的及び意義】

本研究はてんかんや心因性非てんかん性発作をはじめとするてんかん類縁疾患患者に対して、てんかんモニタリングユニット検査入院がもたらす発作や心理社会的問題や QOL に与える影響を検討するのが目的です。

本研究によって、てんかんおよびてんかん類縁疾患の傾向や特性を明らかにし、適切な診断や治療を行うことが可能になります。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2013年7月17日より2025年9月30日までの間に、東京大学病院精神神経科てんかんモニタリングユニット入院をした方

利用する試料・情報等

情報等：診療録(年齢、性別、診断名、病歴、生活史(教育歴、職歴、婚姻歴などの情報)、治療歴(抗てんかん薬、向精神薬、環境調整、精神療法について)、発作転帰、最終診断、病理診断、MRI、FDG-PET、SPECT、脳波、脳磁図、神経心理検査の結果)

研究期間

2020年10月24日より2025年9月30日まで

【共同研究機関】

東京大学医学部附属病院 精神神経科(研究代表機関)

研究代表者：岡村由美子(東京大学医学部附属病院 精神神経科)

2025年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 精神科/てんかん診療部 氏名 谷口 豪

e-mail: gtaniguchi@ncnp.go.jp